

メディアセンターの主な出来事<2019年度>

メディアセンター本部

1. 早慶図書館システム共同運用を開始

9月2日に早稲田大学図書館とともに新しいシステムの運用を開始した。両校でEx Libris社のAlmaとPrimo VEシステムを採用し、国内初の大学図書館間のコンソーシアムを実現している。三田の図書館内に開設した早慶目録ユニットにおいて、両校のほとんどの資料を対象とした目録作成を協同で行っている。

2月25日には早稲田大学国際会議場井深大記念ホールにおいて「システム共同運用記念シンポジウム～早慶図書館の挑戦～」を開催し、図書館関係者356名（うちオンライン中継視聴81名）が参加した。

2. 体制の変更

新システム移行および早慶目録ユニット発足に先立ち、4月から受入・目録の業務委託先を変更した。また新システムに沿った業務フロー確立のために、11月に組織変更を行い、紙媒体資料も電子資料も取り扱うリソースマネジメント担当を新設し、システム担当および総務担当の3担当制とした。

3. 新しいWebサイトの公開

各キャンパスの6メディアセンターのWebサイトを統合して、3月末に新しく公開した。キャンパスをまたいで活動する学生や教職員にとっても常に一つのインターフェイスから情報が得られる環境が整った。

4. 海外派遣研修

英国セインズベリー日本藝術研究所へ8人目となる職員1名（吉井由希子）を10月から4ヶ月間派遣した。その成果は3月6日に開催した海外研修報告会で他のスタッフと共有された。また同報告会では、海外の図書館システム視察や国際会議に参加した職員からの報告およびメディアセンターの海外研修の今後についても情報提供も行われた。

5. 第16回メディアセンター研修会の開催

11月22日に「オープンアクセス（OA）推進に向け

て：これから取り組むべき課題について考える」をテーマに三田北館ホールで開催。筑波大学図書館情報メディア系逸村裕教授、国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長平田義郎氏、理工学部物理情報工学科神原陽一准教授を講師に招き、メディアセンター以外の職員も含めて93名が参加した。

三田メディアセンター

1. 館内施設・設備の改善

(1) 新館1階フロア改修（8月）

レファレンスルームの書架の一部を撤去し、代わりにL字テーブルを2台設置した。ここに1階・3階・4階に設置されていたパソコン計8台を移設・集約し、新たなPCエリアを設置した。

(2) 新館東側外壁工事（8月19日～9月21日）

2. 図書館旧館工事関連

2017年2月から続いていた図書館旧館の免震工事が2019年6月に完了した。これに合わせ、新館・南館図書室との間で大規模な資料再配置を実施した。

3. 2019年度三田メディアセンター研修会の実施

(2月20日)

全スタッフ参加による同研修では「ILLサービスの変更」、「英国図書館研修報告番外編」、「東日本大震災時のメディアセンター」の3つのテーマでの発表および質疑応答を行った。

4. 出版物

(1) 「知識の花弁—三田メディアセンターだより」No. 14 (2019春)

(2) 「PETAL—知識の花弁」（「知識の花弁—三田メディアセンターだより」より改題）No. 15 (2019. 8), No. 16 (2020. 1)

(3) 「究極の質感—中世西洋写本の輝き—」（第31回慶應義塾図書館貴重書展示会目録）(10月)

5. 展示貸出

- (1) 国立民族学博物館特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」(8月29日～11月26日)
ゲスナー「動物誌」ドイツ語版(1606年刊)
1冊他 合計4点6冊
- (2) 町田市立国際版画美術館「美人画の時代—春信から歌麿,そして清方へ」(10月5日～11月24日) 勝川春章「柳下美人」(高橋誠一郎浮世絵コレクション)他 合計3点
- (3) 丸善・丸の内本店4階ギャラリー「『丸善』創業150周年記念稀覯書展—西洋の名著との出会い—」(10月9～15日) アリストテレス「著作集」(インキュナブラコレクション)他 合計7点
- (4) 中津市歴史博物館開館記念特別展「時を拓く,時代を創る。一時の開拓者たち—」(1月18日～3月1日) 鳥津祐太郎宛書簡(文久2年4月11日付)他 合計5点(いずれも福澤諭吉自筆書簡)
- (5) 亀岡市文化資料館「第34回特別展『明智光秀と戦国丹波—丹波進攻前夜—』」(1月25日～3月8日) 明智光秀書状(反町文書)他 合計3点

6. 学外協力活動

- (1) Google Arts & Cultureが公開した「Flavors of Japan—奥深き日本の食文化を召し上がれ」にパートナーとして参加し,慶應義塾図書館が所蔵する「ボン浮世絵コレクション」のデジタル画像を公開した。(9月)
- (2) 曲直瀬家文書の港区文化財指定(9月27日)
- (3) システム共同運用記念シンポジウム「早慶図書館の挑戦」において併設展示開催(2月25日)

日吉メディアセンター

1. 施設・設備の改修・変更

- (1) より快適な学習環境提供のため,図書館2階バルコニーを改修した。吹き抜けや大きな窓に囲まれ明るく開放感のある場所を活かせるよう,カーペットを張り替え,新しい什器を配置した。合わせて,バルコニーに別置して

あった福澤諭吉関係図書,慶應義塾関係図書を本来の請求記号の位置に移動した。

- (2) 長年の使用により不具合が生じていた図書館1階正面出入口を自動ドアに変更した。
- (3) 図書館1階に設置していたデジタルサイネージをタッチパネル化した。
- (4) 図書館内での学生のPC利用増加に対応するため,4月から3階西閲覧室の南側をPC・電卓使用可能エリアに変更した。
- (5) 3月に図書館内の防犯カメラ設備の更新工事が行われた。
- (6) 新システムへの移行に伴い,自動貸出機を撤去した。

2. 企画・広報

- (1) 毎年恒例となったライブラリーコンサートを5月に2回にわたって開催した。
- (2) 総合教育セミナーⅡ(本のソムリエ入門講座)の受講生による企画展示が図書館1階と2階の展示ケースを使用して開催された。
- (3) 「ツーリスト・ライブラリー(全40巻)」の企画展示を行った。
- (4) 第3回ビブリオバトルを開催した(10月16日)。学部生3名がバトラーとして参加した。後日,紹介された図書を展示した。
- (5) 広報用として,図書館フレンズの学生がデザインした新しいライブラリーバッグを作成した。

3. 展示のための資料貸出

- (1) 台湾の国立台湾美術館で6月から9月にかけて開催された展覧会のため,山中散生コレクションから18点を貸し出した。
- (2) 群馬県立館林美術館で10月から12月にかけて開催された展覧会のため,山中散生コレクションから3点を貸し出した。

4. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い,グループ学習室,AVホールの学生のみでの利用を中止,ブックポスト(返却ポスト)を図書館正面入口前に置き,開館中であっても誰でもが利用できるようにする,通信教育課程生の利用登録期限の延長をメール申請で行えるようにするなどの対策を順次行った。

5. 協生館図書室

新システムへの移行に伴い、自動貸出機を撤去した。

信濃町メディアセンター

1. 電子資源

- (1) SAGE社電子ジャーナル契約の見直し
SAGE社電子ジャーナルパッケージの全塾契約を2020年から中止したため、信濃町独自で19タイトル（購読12/非購読7）を個別契約した（11月）。
- (2) Karger社とRead & Publish契約を締結
現行の電子ジャーナル契約の付帯事項として、2020年度申込の先着15件のアクセプト論文に対してAPC支払を免除とする契約を締結した（3月）。

2. 古医書デジタル化

- (1) 富士川文庫
 - ・和古書・漢籍135タイトル332冊を慶應義塾大学メディアセンターデジタルコレクションで公開した（4月）。
 - ・デジタルコレクション用に漢籍37タイトル129冊をデジタル撮影した（9月）。

3. 蔵書管理

- (1) 請求記号ルールの変更
信濃町では従来同一請求記号を認めていたが、図書館システムの変更に伴い、アイテムごとに異なる請求記号を付与（末尾に出版年を付けるなど）することにした（11月）。

4. 慶應義塾大学関連病院向けサービス

- (1) 関連病院向けのILL複写料金値下げ
10月1日より、モノクロ1枚55円→30円、カラー1枚200円→100円に変更した。
- (2) 関連病院図書担当者連絡会開催（2月28日）
申込は10機関だったが新型コロナウイルス感染症拡大による自粛のため6機関6名の参加。

5. 館内施設・設備の改修

- (1) 1階旧総務事務室を会議室に変更するための改修工事を行った（5月）。また同会議室に壁掛けディスプレイを設置した（1月）。
- (2) 1階ITCパソコンエリアのA4対応スキャナー3台をA3対応のものにリプレースした（7～8月）。
- (3) 1階レファレンス資料コーナー内積層書架の上層部分を撤去した（2月）。

6. 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、3月以降、信濃町管財課作成の注意喚起の掲示、書庫立入、閲覧席の使用を禁止した。
- (2) 健康情報ひろばの相談業務を休止し資料のみ利用可とし（3月26～30日）、3月31日以降は閉室とした。

理工学メディアセンター

1. 電子ブックの新しいモデルの購入

2020年1月にRoyal Society of Chemistry (RSC)の電子ブックをEBA (Evidence Based Acquisition) モデルで購入した。これは£5,000支払うことで、RSCが提供する全ての電子ブック1,600タイトルに、1年間全塾からアクセス可能になるもの。期間終了後には、利用実績にもとづいて£5,000分のタイトルを選定する。

2. 電動集密書架の改修

別館設置の電動集密書架が、長年の使用による部品の劣化により動作に不具合が生じていたため、2020年3月にすべての車輪とモーターを交換する工事を行った。

3. 東京都市大学所属者への支援

東京都市大学世田谷キャンパスの図書館が、2019年10月の台風19号の被害により当分の間、休館となった。そのため同大学所属者については、通常は必要としている紹介状無しでの入館と資料閲覧ができることとした。2020年3月末まで。

4. 選書ツアーの実施

新たな試みとして選書ツアーを2019年9月20日に実施した。学生・職員合わせて5名が書店に出向き約280冊を選定し、重複分等を除く約100冊を購入した。その後、購入した図書を入口付近に展示し、貸出も行った。

5. プレゼンバトルの開催

もう一つの新たな試みとしてプレゼンバトルを2019年10月18日に開催した。これは各プレゼンターが、自身の研究や趣味のことなど、自由なテーマで7分間のプレゼンテーションを行い、最後に会場の参加者がもっとも興味を惹かれたプレゼン、もっと聞いてみたいプレゼンに投票し優勝者を決定するもの。当日のプレゼンターは4名、観戦者は33名だった。

6. 新型コロナウイルス感染症関係対応

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年2月下旬以降、注意喚起のポスター掲示、セミナールームやグループ学習室の利用停止、文献探索ツアー中止、オープンライブラリー中止、手指消毒用アルコールを館内各所に増設等の対応を行った。

湘南藤沢メディアセンター

1. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、カウンタースタッフのマスク着用、撮影/音響スタジオ・AVホール・グループ学習室・ラウンジの運用変更、藤沢市民の利用停止などの対応を順次行った。

2. 施設関連

- (1) 1階オープンエリアの夜間開放試験運用
キャンパスの要請により、夜間残留場所としてのニーズと課題を確認するため、2019年7月と2020年1月に1階オープンエリアの夜間(終夜)開放を実施した。
- (2) 1階ラウンジの改修
館内での飲食場所となっている1階ラウンジにおいて、カーペットの交換や換気設備の強化を行った。
- (3) BS8K試験放送受信設備の設置

環境情報学部長の発案で学生が最先端の映像技術を体験できる場として1階オープンエリアにBS8K試験放送の受信設備を設置した。

3. ライブラリーサービス関連

- (1) SDGsセミナーの開催
蟹江研究室と共催で「SDGsの歩き方：統計データからのアプローチ」と題してセミナーを開催し49名の参加があった。
- (2) Webサイトリニューアル
全塾メディアセンター共通サイトの稼働に伴い、湘南藤沢メディアセンター及び看護医療学図書室Webサイトのリニューアルを行った。

4. マルチメディアサービス関連

- (1) 新規AV機器の導入
貸出用としてミラーレス一眼カメラ22台、4K撮影対応ビデオカメラ30台を新たに導入した。
- (2) 「SFCアーカイブ」の公開停止
過去の授業やイベント、学生発表作品などの動画コンテンツを教員向けに提供していた「SFCアーカイブ」を、ハードウェア故障をきっかけにリースアップも迫っていることから、そのまま公開停止とした。

5. 看護医療学図書室関連

- (1) 室内レイアウトの一部変更
グループ学習室内の間仕切り設置などレイアウトの一部変更を行った。
- (2) 慶應看護アーカイブ委員会活動への協力
「慶應看護100年史」編纂事業で収集された資料の保管や利用提供で同委員会に協力することとなった。

薬学メディアセンター

1. 蔵書管理

- ・ 共立薬科大学専門学校資料の寄贈
共立薬科大学同窓会より共立薬科大学専門学校校友会誌『宇陀野』の一部が寄贈された。

2. 4階集密書庫にカビ発生

夏の一斉休暇中に4階書庫にカビが発生した。対策としてまず除湿機を設置した。書庫の全ての資料を点検し、劣化のひどい約500冊を除籍した。残る資料はメディアセンター所長主導の下、除菌作業を行った。

3. 卒業アルバムのデジタル化

薬学部開設10周年、薬学部ホームカミングデー開催に合わせ、過去の卒業アルバムのデジタル化を開始した。

4. 第1回薬学ホームカミングデーへの協力

共立薬科大学卒業50年～10年の卒業生を招待する催しを教職員全体で主催した。メディアセンターは図書館見学と展示を行い、卒業アルバムの展示に人気が集まった。

メディアセンターの主な出来事 2019年度

資料

資料

	2019 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020 1月	2月	3月
本部 および 共通	●4/1 和書目録規則にもRDAを採用				8月 3キャンパス合同オープンライブラリー (日吉・理工学・湘南藤沢)	●9/1 早慶目録ユニット発足 ●9/2 新図書館システムKOSMOSIV稼働 ●9/2 日本十進分類法新訂10版を採用 ●9/3 新早慶連絡便の運行開始		10/18-1/31 英国セインズベリー日本藝術研究所派遣研修(1名)	●11/22 第16回メディアセンター研修会			●2/25 システム共同運用記念シンポジウム「早慶図書館の挑戦」開催 ●3/27 メディアセンター新Webサイト公開
三田		●6/14 図書館旧館改修工事完了式			●8月 広報誌「知識の花弁」を「PETAL」に改題	●8/30 新館1階にPCエリア新設	10/2-8 第31回慶應義塾図書館貴重書展示会「究極の質感(マテリアリティ) -西洋中世写本の輝き-」(於:丸善丸の内本店4階ギャラリー)		12/18-21 ゲーテンベルク42行聖書館内展示			●2/20 三田メディアセンター研修会(委託職員を含むスタッフ全員が参加)
日吉		●5/14 選書ツアー		7月-9/6 2階バルコニーのリニューアル			●10/16 図書館フレンズ主催「知的書評合戦ビブリオバトル」			●12/9 新ライブラリーバッグ(図書館フレンズデザイン)完成		
信濃町	●4/25 富士川文庫の135タイトル、332冊をデジタルコレクションで公開		●5/13 1階旧総務事務室を会議室に改修		●8/9 ITCパソコンエリアにA3スキャナー3台導入		●10/1 慶應義塾大学関連病院図書室向けのILL複写料金を値下げ					●2/11 1階レファレンス資料コーナー内積層書架の上層部分を撤去 ●3月 Karger社とRead & Publish契約を締結 3/15-24 書庫3~4階のエアコン交換工事
理工学	●4/19 メディアdeシネマ開催	●5/29 英語論文の書き方セミナー開催		●6/13 サイエンスカフェ開催		●9/20 選書ツアーの実施		10/16-3/31 水害で図書館が被災した東京都市大学所属者への支援	●10/18 プレゼンバトル開催	●11/12 サイエンスカフェ開催	●11/27 英語論文の書き方 オンラインセミナー開催	●1月 Royal Society of Chemistry EBAモデル契約 ●3月 集密書庫改修
湘南藤沢	4/1-5/11 新入生歓迎企画「メディア内でカモを探そう!」		●5/21-30 メディアセンターフレンズ企画展示「いにしへの贈り物」	●5/27, 6/10, 7/1 初心者向けIllustrator講習会	7/8-19 メディアセンター1階の夜間開放(試行第1回)	●9/1 貸出用ミラーレス一眼カメラ4K撮影対応ビデオカメラの導入	10/30-12/5 企画展示「面白い人体」(看護医療学図書室)		12/9-25 メディアセンターフレンズ「ラウンジカイトキカ計画」	1/14-23 メディアセンターフレンズ企画展示「作家芸人」	●2/19 1階オープンエリアにBS8K試験放送の受信設備を設置	
薬学		●5/25 第1回薬学メディアセンター学生図書委員会		●7/9 学生向け資料頒布会		●8/1 卒業アルバムデジタル化開始		●10/29 共立薬科専門学校校友会誌『宇陀野』5号(昭11)~13号(昭18)の一部をKP会(同窓会)が寄贈	●12/10 第2回薬学メディアセンター学生図書委員会	●12/13 学生向け資料頒布会	●12/21 薬学部ホームカミングデー開催	●3/9 4階書庫カビ除菌作業